

製品名: HOXA9 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81590**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	30.2kDa

抗原情報

遺伝子名	HOXA9
別名	HOX1; ABD-B; HOX1G; HOX1.7
遺伝子 ID	3205.0
SwissProt ID	P31269
免疫原	大腸菌で発現したヒト HOXA9 (AA: 1-272) の精製された組み換え断片。

背景

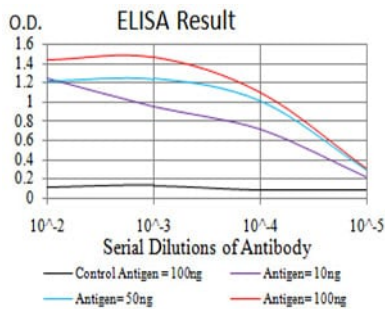
脊椎動物では、ホメオボックス遺伝子と呼ばれる転写因子群をコードする遺伝子は、4本の別々の染色体上の A、B、C、D というクラスターに存在します。これらのタンパク質の発現は、胚発生中に空間的および時間的に制御されています。この遺伝子は 7 番染色

体上のAクラスターの一部であり、遺伝子発現、形態形成、および分化を制御する可能性のあるDNA結合転写因子をコードしています。この遺伝子は、ショウジョウバエのabdominal-B (Abd-B) 遺伝子と非常に類似しています。この遺伝子とNUP98遺伝子の融合を引き起こす特定の転座イベントは、骨髄性白血病の発生と関連付けられています。この遺伝子と上流のホメオボックスA10 (HOXA10) 遺伝子の間には、リードスルー転写が存在します。

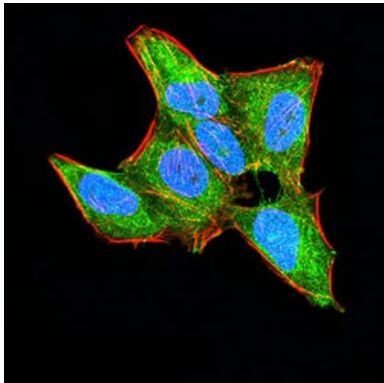
研究分野

-

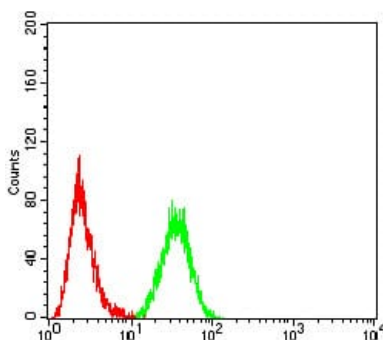
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



HOXA9 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



HOXA9 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。